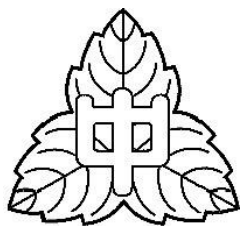


令和5年度 牧中学校だより



学校HP <https://www.maki-j.jorne.ed.jp/>

柏葉

第1号

令和5年4月20日発行
上越市立牧中学校
TEL 025-533-5023
FAX 025-533-5063

令和5年度入学式

4月7日（金）の午後、令和5年度入学式が行われました。今年度は、マスクの着用については個人の判断とし、手指消毒、換気の感染症対策を行う中で、通常通りの次第に沿って実施しました。ご来賓および保護者の皆様、そして全校生徒、教職員で、6名の新入生の入学をお祝いしました。式では、生徒会長のI・Sさんが新入生への「歓迎の言葉」を述べました。そして、新入生代表としてK・Hさんが新たな決意を込めて「誓いの言葉」を述べました。ご来賓の皆様におかれましては、ご多用の中、ご来校いただき誠にありがとうございました。



式辞（抜粋）

校長

（前略）本日の日にあたり、新入生の皆さんに期待し、お願いしたいことを三つお話します。一つ目は、お互いの存在、お互いの違いを認め合える人になってほしいということです。本日、皆さんの後ろの席には、それぞれの保護者・ご家族の方々がお出でのことと思います。皆さん一人一人は、それぞれのご家族にとって、また、牧中学校の新しい一員として大切なかけがえのない存在なのです。そして、周りの人の顔を見回してみてください。みんな違う顔ですね。身長も体重もたぶん違います。話してみれば声も違う、ものの見方や考え方もそれぞれ違うことがあるのではないかと思います。私たち人間は、自分や自分たちと違うものに出会ったとき、排除したり、攻撃したりすることが多い生き物だと言われることがあります。文明や文化をもつ私たちにそのような権利はあるのでしょうか。答えはノーだと考えます。二つ目は、想像力をもった人になってほしいということです。ここでいう「想像」は、頭の中に形のない物やこれから起こることを思い描くこと、という意味の「想像」です。例えば、こういう言葉を遣ったら、相手が傷つくのでは



ないか、逆にこういうことをしたら、相手はうれしいのではないか、といったことなどです。言葉でいうのは簡単ですが、実は難しいことです。でも皆さんならきっとできるはず。三つ目は、「挑戦」です。広い視野をもち、中学校入学を機に、新たにやってみたいことやもっと伸ばしたいことを見付け、それぞれの自分をさらに高めてください。

「認め合い」「想像力」「挑戦」。三つのことをお話しました。どれか一つでもできるところから取り組んでみてください。中学校生活の3年間、日数にして約千百日。様々なことが皆さんを待っています。楽しいこと、うれしいこと、感動すること。逆に苦しいことや悩むこともあるでしょう。苦しい時、悩んだ時、必ずあなたを助け、支えてくれる人がいます。それは、友達や仲間であり、先輩であり、先生方です。そして一番身近な家族がいらっしゃいます。助けられた人、支えられた人は、次は、助ける人や支える人になってください。そのような輪の中で、共に牧中学校を創っていきましょう。(中略) 結びとなりますが、私は、一生懸命に物事に取り組む中学生の姿を美しいと感じます。そんな牧中学校、牧中生の輝く姿を想像するとワクワクします。新入生のみなさんには、先輩や先生方、地域の方々と共に、牧中学校を創っていくことを期待するとともに、本日の決意を胸に、よりよい自分を鍛える3年間になることを祈念し、式辞といたします。

歓迎の言葉

生徒会長 I・Sさん

暖かな日差しとともに吹く風が心地よく感じられる季節となりました。若い草の芽も伸び、桜の花も咲き始める今日、入学をむかえた六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち二、三年生は、皆さんが入学することを心待ちにしていました。今、新入生の皆さんは、中学校という新しい環境に対して、

「不安」と「期待」を感じていると思います。私も二年前に、この先に何が待っているのかという「不安」、そして「期待」、様



々な「想い」を胸に入学したことを、今でも覚えています。この牧中学校は、皆さんを含めて、全校生徒二十一名と、生徒数の少ない学校です。大きな学校のような華やかさはないかもしれませんが、しかし、人数が少ないからこそ、全校生徒みんなの仲がよく、穏やかな雰囲気にも包まれています。先生方も、生徒一人ひとりの課題に真剣に向き合ってください、優しく頼もしい先生ばかりです。もちろん先輩方も頼りになる人ばかりですので、先輩の姿を見て「すごい」と思ったことはどんどん真似をし、分からないことがあれば遠慮なく質問してください。きっと先輩方が優しく教えてくれるはず。さて、これから始まる中学校生活の中で、小学校にはなかった新しいことを紹介します。まずは「生徒会活動」です。牧中学校をよりよくするために、「図書・報道委員会」と「保健衛生委員会」、そして「執行委員会」の、三つの委員会が力を合わせ、生徒主体の活動を展開していきます。主な生徒会行事は、よりよい生徒会活動が運営できるようにする「生徒総会」、全校の絆を深めるための「全校レク」、「体育祭」や、昨年度皆さんに見てもらった「総合的な学習の時間の発表会」に「MAK I フェス」などと、生徒で創りあげる行事がたくさんあります。次に「学習」です。小学校までの算数が数学に変わり、技術、美術なども始まります。年二回の定期テストもあります。皆さん、スタートが肝心です。自主学習に積極的に取り組み、自分の知識を増やしましょう。分からないければ、分かるまで先生や先輩に聞いてください。

最後に「部活動」です。小学校とは違い、中学校には部活動があります。牧中学校には現在、陸上競技部、音楽部、女子バレーボール部の三つの部活動があります。平日は放課後に活動し、目標に向かってチームで協力しながら活動し、大会にも参加して練習の成果を発揮することができます。入部は希望制ですが、自分自身で目標を定め、仲間と協力し、高め合っていきます。

誓いの言葉

新入生代表 K・Hさん

3月24日、私たち6名は牧小学校を卒業し、本日、牧中学校に入学しました。

中学校では、学習する教科が増え、内容も以前より難しくなります。また、部活動や生徒会など、中学校で新しく活動することがたくさんあります。一つ一つ自分で考え、努力し、時には先生や先輩方からご指導をいただきながらがんばっていきます。

中学校生活に1日でも早く慣れるよう6名全員で助け合いながら取り組んでいきます。何事にも挑戦し、一人一人が大きく成長できる中学校生活にしたいと思います。

最後に、先生方、先輩方、そして保護者、地域の皆様、私たちを時には優しく、時には厳しくご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。



転入職員紹介

～その1～

令和5年度初めに転入した職員を紹介します。

教頭 O・M

この度、妙高市立新井小学校より参りました。技術・家庭科技術分野を担当いたします。よろしくお願いいたします。さて、新学期が始まりました。子どもたちは、学校が始まるのを待っていたかのように、キラキラした表情を見せてくれます。ハキハキと挨拶をしたり、自分の役割を最後まで責任をもって頑張ったり、どうすると良くなるか考え発言したり…

まだ数日ですが、牧の自然の雄大さ、神秘さに負けにくいらい、子どもたちの輝きを感じました。この輝きをもっと増すよう努めて参ります。

教諭 F・Y

今年の3月に大学を卒業し、新採用として赴任しました。生まれ育った上越市の一教員として、朗らかで優しい牧中学校の生徒の皆さんと毎日を過ごせていることを幸せに思います。4月上旬には通勤路や教室から見える牧の満期の桜に日々感動していました。これから夏秋冬とどのような景色が校舎内から見られるのか楽しみです。こちらでの出会いを大切にしながら、生徒たちが楽しく学校生活を送れるようサポートしていきますので、よろしくお願いいたします。

※転入職員紹介（その2）は、学校だより第2号に掲載します。